

C.H.アリソンによる霞ヶ関カンツリー倶楽部コース改造の提案（日本語訳）

（日本語訳作成：霞ヶ関カンツリー倶楽部広報委員会）

霞ヶ関カンツリー倶楽部

私は霞ヶ関のコースを 4 回（うち 3 回はコース設計家の赤星四郎氏とともに）調査した結果、以下の提言を致します。

1 番

現在のバックティーを廃止すること。

右側 180 ヤード地点のバンカーをフェアウェイに寄せること。

左側 230 ヤード地点に新たなバンカーを 1 つ造ること。

グリーン左のバンカーを 2.5 ヤード縮小し、その背後からグリーンに向けてマウンドを延ばすこと。

マウンドの高さは、ひとつめが 4.5 フィート、ふたつめが 6 フィート。

2 番

右側 190 ヤード地点のフェアウェイに大きいバンカーを造り、フェアウェイを左に少し広げること。

右側 200 ヤードから 230 ヤード地点のラフにバンカーを 2 つ造ること。

15 ヤード後方に新しいバックティーを作り、1 つ目のバンカーまでキャリーで 205 ヤードにすること。

グリーン左のバンカーを 11 ヤード中央に移動し、右のバンカーを少し右にずらすこと。

グリーン後方にもバンカーを造ること。

3 番

300 ヤード地点のバンカーを廃止すること。

200 ヤードから 230 ヤード地点の左右両側にバンカーを造り、バンカーの間隔を 40 ヤードにすること。

グリーンを左に少し拡張し、その分右側を削ること。

グリーン後方の低い個所を上げ、後方と右側のマウンドを取り除くこと。

4 番

左のバンカーの急な曲がりを部分的に埋めて直すこと。

そのバンカー後方の高さを 3 フィートにして、グリーンまで 1/7 勾配の傾斜をつけること。

グリーン手前と右のバンカーの縁を少しずつ削ること。

全てのバンカーを 2 フィート深くすること。（掘り下げることが可能であれば）

5 番

最長 500 ヤードに距離を短縮し、その他のティーは 470 ヤードおよび 440 ヤードとすること。

グリーンへの直線的なラインのバンカーまでキャリー210ヤードとして、その左にはショートヒッターのために30ヤードのフェアウェイ幅を持たせること。

右側240ヤード地点のラフにバンカーを造ること。

現在のグリーン奥のやや後ろに中心がくるような新たなグリーンを造ること。

セカンドショットをブラインドショットにするため、グリーンセンターの手前50ヤードにマウンド群に面したバンカーを造ること。

グリーン奥にもう一つマウンド群を造り、グリーン50ヤード手前のマウンド群越しに見えるようにすること。

グリーン左側にもマウンド群を造ること。

マウンドの高さは、グリーン手前が5フィート、奥が10フィート、左側が7フィート、で適切であろう。

予算が許すならば、マウンドはより高くされたい。

6番

左側のキャリー200ヤード地点の右にショートヒッターのために40ヤード幅のフェアウェイを設けること。

傾斜を斜めに削ってグリーン右のバンカーをグリーンに12ヤード近づけて、グリーン右側をタイトにすること。

7番

グリーン右のこぶを取り除くこと。

左のバンカーを出来るだけ深く掘り下げること。

右側のグリーン手前にバンカーを新たに作り、花道を21ヤード幅にすること。

8番

220ヤード地点の左側にバンカーを造り、右のフェアウェイ幅を35ヤードにすること。

フェアウェイ中央のバンカーを埋めること。

グリーン左のバンカー1つを埋め、グリーン手前の急傾斜を緩やかにすること。

フェアウェイ上の樹木を全て伐採すること。

9番

新しいグリーンを造ること。(詳細別紙)

バックティーを前に出して距離を500ヤードとして、その他のティーは470ヤードおよび440ヤードとすること。

右側180ヤード地点から350ヤード地点のフェアウェイを右に10ヤード広げ、その分だけ左側のフェアウェイを狭くすること。

220ヤードから250ヤード地点のフェアウェイ幅は45ヤードとして、両側にバンカーを造ること。

250ヤード地点のフェアウェイ左端から1番ホールのバックティー中央を見通せるよう、樹木を伐採すること。

250ヤード地点のフェアウェイ右端からグリーン右のバンカー全体が見通せるよう、フェアウェイ上の樹木全てを伐採すること。

左側の池を埋めること。

10 番

グリーン左側を 3 ヤード狭めること。

グリーン手前にバンカーを造り、グリーンの前後幅を 8 ヤード短くすること。

このバンカーの両側にグリーンに登る歩経路を確保すること。

右側のバンカー手前の馬の背を取り除き、バンカーの手前部分を下げて、バンカーが見えるようにすること。

グリーン奥のマウンドの高さを 2 フィートに下げて、グリーンまで 1/6 勾配の傾斜をつけること。

11 番

グリーンへの直線的なラインのキャリー 210 ヤード地点の左にショートヒッターのために 30 ヤードのフェアウェイ幅を持たせること。

左側 240 ヤード地点にバンカーを造ること。

グリーンの前後幅は 28m とすること。

グリーンへの花道の左側に 6 フィートのマウンドを作り、グリーンまで 1/5 勾配の傾斜をつけること。

このマウンドの正面にバンカーを造り、花道の幅を 15 ヤードに狭めること。

現在のグリーン手前のバンカーは埋めること。

右側 235 ヤード地点のラフにバンカーを造ること。

12 番

右側 210 ヤード地点から 250 ヤード地点に、フェアウェイに 10 ヤード入り込んでタテに並んだバンカーを造ること。

グリーン左を斜めに削り、花道を狭くすること。(グリーン手前から 14 ヤード地点で最大 8 ヤード削る)

13 番

右側 210 ヤード地点から 250 ヤード地点のラフの縁にバンカーを複数造ること。

グリーン左側の一つ目のバンカーを 6 ヤード動かすこと。

グリーン奥のバンカーを 4 フィートの深さにすること。

14 番

ティーを右に移動して、直線距離 580 ヤードになるまで位置を下げること。

フェアウェイを、まず右、次いで左に振り、また右に振る、S 字形にすること。

左側約 200 ヤード地点から約 240 ヤード地点の大きな土手に、大きなバンカー群を造ること。

右側の約 425 ヤード地点の土手にもバンカー群を造り、その左のフェアウェイは 5 ヤード広げて 35 ヤード幅にすること。

新しいグリーンを造ること。(詳細別紙)

15 番

現在のバックティーの後方約 20 ヤードに新しいバックティーを造ること。

フェアウェイ左側の約 205 ヤード地点の大きな土手に、フェアウェイに 21 ヤード入り込む巨大なバンカーを造ること。

ショートヒッターのために、フェアウェイ右側を拡げて 40 ヤードのフェアウェイ幅とすること。

グリーン手前にバンカーを造り、グリーンを 3 ヤード小さくすること。

グリーン左奥のコーナーを約 3 ヤード削ること。

16 番

グリーン奥にグリーンに密接するバンカーを 2 つ造ること。

グリーン右のバンカーの縁を少し削ること。

17 番

ティーを約 50 ヤード下げて、少し右に移動すること。

グリーンを約 50 ヤード手前の杭を打った地点まで移動すること。

新しいグリーンを造ること。(詳細別紙)

18 番

バックティーを 40 ヤード後方に動かすこと。

グリーン左側のバンカーを 8 ヤード埋め、残りはうねらせること。

グリーンに登るスロープをより長く、不規則なものにして、スロープの頂点の形状をなだらかにすること。

右側に大きなバンカーを造り、バンカー間の花道を 24 ヤード幅にすること。

グリーン奥の蜂状のコブを取り除くこと。

これらの改良が実施されれば、本コースは一流となり、会員には喜ばしく興味深いものになるであろうと確信する。

追記 (17 番)

190 ヤード地点から 240 ヤード地点のフェアウェイ両側にバンカーを造り、フェアウェイ幅を 40 ヤードにすること。

赤星四郎